



## 平成26年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成25年7月3日

上場会社名 株式会社CFSコーポレーション 上場取引所 東  
 コード番号 8229 URL http://www.cfs-corp.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 宮下 雄二  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 上田 晃一 TEL 045(476)7474  
 四半期報告書提出予定日 平成25年7月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無  
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年2月期第1四半期の業績（平成25年3月1日～平成25年5月31日）

#### (1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年2月期第1四半期	28,876	—	397	—	429	—	222	—
25年2月期第1四半期	25,479	2.1	△144	—	△63	—	△47	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年2月期第1四半期	6.42	6.42
25年2月期第1四半期	△1.37	—

(注) 1 25年2月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益につきましては、潜在株式は存在しておりますが、1株当たり四半期純損失を計上しているため記載しておりません。

2 当社は平成25年2月期より決算日を2月20日から2月末日に変更いたしました。これに伴い、26年2月期第1四半期(3月1日から5月31日)と、比較対象となる25年2月期第1四半期(2月21日から5月20日)の期間が異なるため、26年2月期第1四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年2月期第1四半期	46,305	20,519	44.3	591.51
25年2月期	46,026	20,396	44.3	588.04

(参考) 自己資本 26年2月期第1四半期 20,503百万円 25年2月期 20,383百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年2月期	—	4.00	—	4.00	8.00
26年2月期	—	—	—	—	—
26年2月期(予想)	—	4.00	—	4.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 平成26年2月期の業績予想（平成25年3月1日～平成26年2月28日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	58,000	—	600	—	700	—	100	—	2.88
通期	116,000	—	1,800	—	1,900	—	300	—	8.65

(注) 1 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

2 平成25年2月期は12ヵ月と8日の変則決算であったため、平成26年2月期の通期及び第2四半期(累計)とも前期と比較対象期間が異なるため、対前期及び対前年同四半期増減率は記載しておりません。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年2月期1Q	34,684,678株	25年2月期	34,684,678株
② 期末自己株式数	26年2月期1Q	20,877株	25年2月期	20,877株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年2月期1Q	34,663,801株	25年2月期1Q	34,663,911株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は今後の様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提条件その他に関連する事項については、添付資料の2ページを参照してください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 業績予想に関する定性的情報 .....	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	2
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	2
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	2
3. 四半期財務諸表 .....	3
(1) 四半期貸借対照表 .....	3
(2) 四半期損益計算書 .....	5
第1四半期累計期間 .....	5
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	6
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期累計期間におけるドラッグストア業界は、消費行動の変化の兆しもあり、花粉症関連の需要が押しなべて業績を押し上げる結果となりましたものの、医薬品のネット販売解禁の動きもあって、価格競争の激化等の状況が続いております。

このようななかで、当社は新規出店を期初に集中させる等、スタートダッシュへ向けた取組みを強化するとともに、5月22日開催の定時株主総会でスタートさせた新しい経営体制の下で、イオングループの経営資源の有効活用とグループ各社との緊密な連携強化を更に進め、収益基盤の再構築を図ることとしました。特に事業構造改革、コスト構造改革を最優先で取組む方針に切り替え、全社を挙げた取組みをスタートさせました。

当第1四半期累計期間における売上高は、調剤部門の売上高が前年同期比21.4%増と引続き順調に推移したことや、既存店の売上高が堅調に推移したことから、前年同期に比し13.3%の大幅な伸びとなりました。このため売上総利益額は、前年同期比14.7%増となり、一方、販売費及び一般管理費は既存店における人件費、設備・活動費を中心に抑制を図り、7.2%の増加にとどめました。

店舗につきましては、既存エリアを中心に「裾野南店」(静岡県裾野市)や「六ッ川店」(横浜市南区)等12店舗を出店するとともに、調剤薬局を併設した既存店「中野富士見町薬局」(東京都中野区)を「れこっず中野富士見町店」に業態転換しました。

これらの結果、当第1四半期累計期間の売上高は288億76百万円(前年同期比13.3%増)となり、営業利益は3億97百万円(前年同期に比して5億42百万円の増加)、経常利益は4億29百万円(前年同期に比して4億92百万円の増加)、また四半期純利益は2億22百万円(前年同期に比して2億69百万円の増加)とそれぞれ大幅な改善となりました。

(注)平成25年2月期に決算日を2月20日から2月末日に変更いたしました。これに伴い、当第1四半期累計期間(3月1日から5月31日)と、比較対象となる前第1四半期累計期間(2月21日から5月20日)では期間が異なっており、前年同期比は参考値となります。

### (2) 財政状態に関する定性的情報

当第1四半期会計期間末の総資産は、前事業年度末と比較して2億78百万円増加し、463億5百万円となりました。これは、「現金及び預金」が4億16百万円減少したものの、主に店舗数の増加により「有形固定資産」が7億60百万円、「差入保証金」が1億75百万円増加したこと等によるものであります。

負債は、前事業年度末と比較して1億56百万円増加し、257億86百万円となりました。これは、前事業年度において決算日変更により一時的に増加した「買掛金」が8億75百万円減少したものの、「短期借入金」が4億円、「賞与引当金」が3億62百万円増加したこと等によるものであります。

純資産は、前事業年度末と比較して1億22百万円増加し、205億19百万円となりました。これは、「利益剰余金」が83百万円、「その他有価証券評価差額金」が36百万円増加したこと等によるものであります。

これらの結果、自己資本比率は前事業年度末と変わらず44.3%となりました。

### (3) 業績予想に関する定性的情報

平成25年4月9日に発表いたしました平成26年2月期の業績予想について変更はございません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位:百万円)

	前事業年度 (平成25年2月28日)	当第1四半期会計期間 (平成25年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,388	1,972
売掛金	2,464	2,452
商品	13,148	13,074
その他	5,598	5,644
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	23,600	23,143
固定資産		
有形固定資産		
建物	13,150	13,817
減価償却累計額	△8,562	△8,664
建物(純額)	4,588	5,153
土地	3,264	3,264
その他	7,766	8,050
減価償却累計額	△4,786	△4,874
その他(純額)	2,980	3,176
有形固定資産合計	10,833	11,593
無形固定資産		
投資その他の資産	677	664
差入保証金	8,642	8,818
その他	2,401	2,213
貸倒引当金	△128	△128
投資その他の資産合計	10,915	10,903
固定資産合計	22,426	23,161
資産合計	46,026	46,305
負債の部		
流動負債		
買掛金	12,238	11,363
短期借入金	1,000	1,400
1年内返済予定の長期借入金	1,232	1,232
未払法人税等	375	227
賞与引当金	476	838
ポイント引当金	1,308	1,239
その他	2,354	2,996
流動負債合計	18,985	19,297
固定負債		
長期借入金	3,668	3,652
資産除去債務	945	1,007
その他	2,031	1,829

(単位:百万円)

	前事業年度 (平成25年2月28日)	当第1四半期会計期間 (平成25年5月31日)
固定負債合計	6,644	6,489
負債合計	25,629	25,786
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,092	7,092
資本剰余金	6,377	6,377
利益剰余金	6,893	6,977
自己株式	△13	△13
株主資本合計	20,349	20,433
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	34	70
評価・換算差額等合計	34	70
新株予約権	13	15
純資産合計	20,396	20,519
負債純資産合計	46,026	46,305

(2) 四半期損益計算書  
(第1四半期累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期累計期間 (自平成24年2月21日 至平成24年5月20日)	当第1四半期累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年5月31日)
売上高	25,479	28,876
売上原価	18,064	20,372
売上総利益	7,414	8,504
販売費及び一般管理費	7,558	8,106
営業利益又は営業損失(△)	△144	397
営業外収益		
受取利息	8	8
受取配当金	60	0
固定資産受贈益	6	25
その他	44	19
営業外収益合計	119	53
営業外費用		
支払利息	12	14
その他	26	8
営業外費用合計	38	22
経常利益又は経常損失(△)	△63	429
特別損失		
店舗閉鎖損失引当金繰入額	—	9
特別損失合計	—	9
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△63	419
法人税、住民税及び事業税	57	203
法人税等調整額	△74	△6
法人税等合計	△16	197
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△47	222

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。